

# イスラエル

2020年11月17日

海外調査部・テルアビブ事務所

## ■3%台の成長を維持

2019年のイスラエルの実質GDP成長率は3.5%と、前年の3.4%とほぼ同じ水準で、底堅い成長を維持した。しかし、2020年第1四半期の実質GDP成長率は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて前期比6.8%減（季節調整済み）となった。

## ■輸出減少で貿易赤字が拡大

貿易をイスラエルの通関統計で見ると、2019年の輸出は前年比5.5%減の585億1,400万ドル、輸入は前年とほぼ同じ765億8,200万ドルとなった。この結果、貿易赤字は前年の146億6,600万ドルから約34億ドル増加し、180億6,800万ドルとなった。

輸出を品目別に多い順で見ると、全体の24.0%を占める化学製品（前年比3.3%増）がトップで、23.4%を占める機械機器・電子機器・音響画像記録装置（3.2%減）、20.1%を占める真珠・貴石・貴金属およびその製品（21.2%減）の順だった。ダイヤモンドを主体とする真珠・貴石・貴金属およびその製品については、2016年から4年連続で減少傾向にあり、前年比で2割以上の減少となった。また、化学製品の2割強を占める医薬品も41.1%減と大きく減少した。

地域別にみると、最大の輸出先であるEU28カ国（構成比29.7%、前年比1.0%減）をはじめ、北米（28.8%、5.6%減）、アジア（23.4%、10.7%減）などの主要地域では増加がみられなかった。

国・地域別に輸出を牽引した順をみると、英国（15.7%増）、ポーランド（91.4%増）、マルタ（2.4倍）、

表1 イスラエルの主要品目別輸出入〈通関ベース〉

（単位：100万ドル、%）

輸出 (FOB)	2019年				輸入 (CIF)	2019年			
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
化学製品	13,591	14,039	24.0	3.3	機械機器・電子機器・音響画像記録装置	17,849	17,615	23.0	△1.3
医薬品	5,632	3,315	5.7	△41.1	輸送機器	8,468	10,534	13.8	24.4
機械機器・電子機器・音響画像記録装置	14,136	13,687	23.4	△3.2	鉱物性生産品	10,267	9,679	12.6	△5.7
真珠・貴石・貴金属およびその製品	14,939	11,768	20.1	△21.2	化学製品	7,028	7,339	9.6	4.4
卑金属およびその製品	2,430	1,937	3.3	△20.3	真珠・貴石・貴金属およびその製品	6,899	5,139	6.7	△25.5
光学・医学・精密機器	5,291	5,540	9.5	4.7	ゴム・プラスチック製品	4,711	4,576	6.0	△2.9
ゴム・プラスチック製品	3,102	2,946	5.0	△5.0	繊維製品	3,370	3,235	4.2	△4.0
輸送機器	2,446	2,835	4.8	15.9	光学・医学・精密機器	2,811	2,828	3.7	0.6
鉱物性生産品	1,494	1,416	2.4	△5.2	光学・医学・精密機器	2,794	2,918	3.8	4.4
植物性生産品	1,394	1,345	2.3	△3.5	食料品・飲料・たばこ	2,741	2,826	3.7	3.1
繊維製品	967	987	1.7	2.0	植物性生産品	2,063	2,089	2.7	1.3
合計（その他含む）	61,951	58,514	100.0	△5.5	合計（その他含む）	76,611	76,582	100.0	△0.0

〔出所〕 イスラエル中央統計局 (CBS)

台湾 (24.6%増)、スペイン (12.2%増) となった。中国 (14.7%減、香港を含む)、米国 (5.0%減)、ベルギー (25.6%減)、スイス (21.9%減) は減少幅が大きく、輸出を抑制した。なお、日本への輸出額は15.2%減の8億7,500万ドルだった。

### ■輸入は横ばい、輸送機器が大きな伸び

輸入を品目別に多い順でみると、全体の23.0%を占める機械機器・電子機器・音響画像記録装置 (前年比1.3%減)、13.8%を占める輸送機器 (24.4%増)、12.6%を占める鉱物性生産品 (5.7%減) となる。総額105億3,400万ドルの輸送機器は、前年から20億ドル以上の伸びを記録した。その中でも自動車・同部品 (70億ドル、8.8%

増)、航空機・同部品 (20億9,670万ドル、25.0%増) の増加が目立った。真珠・貴石・貴金属およびその製品は、2017年以降3年連続で減少し、品目別で最大の減少率 (25.5%減) となった。

地域別にみると、前年に続き全体の35.8%を占めるEU28カ国 (前年比13.3%減) が最大で、22.4%を占めるアジア (8.8%減)、16.5%を占める北米 (23.8%増) が続く。

国別に輸入を牽引した順にみると、輸入額が25億ドル以上増加した米国 (25.8%増)、トルコ (10.0%増)、ドイツ (2.0%増)、マルタ (4.2倍) であった。日本からの輸入額は36.4%減の13億800万ドルだった。

### ■対内直接投資は前年比減の185億ドル

中央統計局の対内直接投資統計 (国際収支ベース、ネット、フロー) によると、2019年の対内直接投資は185億300万ドル (前年比11.0%減) と減少した。対外直接投資は83億700万ドル (35.8%増) と増加した。

2019年8月以降の対内投資案件としては、8月にカナダのヌベイ (Nuvei) がオンライン決済ソリューションを手掛けるセーフチャージ (SafeCharge) を8億8,900万ドルで買収、10月には米国のクラウド型ビジネス支援サービスを提供するセールスフォース・ドットコム (SalesForce) がクリックソフトウェア (ClickSoftware) を135億ドルで買収、12月には米国のインテルがAI半導体メーカーのハバナ・ラブズ (Habana labs) を約20億ドルで買収した。2020年5月にも、インテルは交通案内用アプリを開

表2 イスラエルの主要国・地域別輸出入 (通関ベース)

(単位: 100万ドル、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2018年	2019年			2018年	2019年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
アジア	15,332	13,687	23.4	△10.7	18,784	17,138	22.4	△8.8
中国	9,006	7,679	13.1	△14.7	9,039	8,618	11.3	△4.7
インド	2,150	1,989	3.4	△7.5	1,784	1,847	2.4	3.5
日本	1,032	875	1.5	△15.2	2,056	1,308	1.7	△36.4
韓国	970	714	1.2	△26.4	1,516	1,609	2.1	6.2
台湾	564	681	1.2	24.6	944	932	1.2	△1.2
欧州	21,923	21,321	36.4	△2.8	43,567	37,133	48.5	△14.8
EU28	17,570	17,396	29.7	△1.0	31,625	27,410	35.8	△13.3
英国	4,341	5,021	8.6	15.7	6,151	2,994	3.9	△51.3
オランダ	2,276	2,185	3.7	△4.0	3,283	2,857	3.7	△13.0
ドイツ	1,777	1,667	2.8	△6.2	5,420	5,528	7.2	2.0
ベルギー	2,194	1,631	2.8	△25.6	3,823	3,570	4.7	△6.6
フランス	1,606	1,545	2.6	△3.8	2,198	2,043	2.7	△7.0
スペイン	883	990	1.7	12.2	1,584	1,583	2.1	△0.1
イタリア	982	939	1.6	△4.3	2,842	2,772	3.6	△2.5
ポーランド	267	510	0.9	91.4	415	443	0.6	6.6
マルタ	153	370	0.6	141.1	25	104	0.1	315.7
スイス	1,352	1,056	1.8	△21.9	7,757	5,567	7.3	△28.2
トルコ	1,912	1,762	3.0	△7.9	2,886	3,174	4.1	10.0
北米 (NAFTA)	17,837	16,835	28.8	△5.6	10,211	12,643	16.5	23.8
米国	16,696	15,856	27.1	△5.0	9,755	12,273	16.0	25.8
中南米	1,821	1,847	3.2	1.4	817	972	1.3	19.0
ブラジル	1,169	1,166	2.0	△0.3	187	233	0.3	24.1
アフリカ	847	707	1.2	△16.6	300	347	0.5	15.9
合計 (その他含む)	61,951	58,514	100.0	△5.5	76,611	76,582	100.0	△0.0

[注] 中国は中国本土と香港の合計値。

[出所] イスラエル中央統計局 (CBS)

発するムービット (Moovit) を約9億ドルで買収した。ほかにも、自動テストや計測システムを開発する米国のナショナルインスツルメンツ (National Instruments) が6月、ビッグデータ解析ソフトウェアを開発するオプティマルプラス (OptimalPlus) を3億6,500万ドルで買収すると発表し、2020年第3四半期に手続きを終える予定になっている。

## ■日本の輸出は20億ドルを下回る

日本の財務省貿易統計をドル換算したものによると、2019年の日本からの対イスラエル輸出は前年比23.0%減の16億6,654万ドル、輸入は13.1%減の12億1,727万ドルだった。輸出は2016年から2018年まで3年連続で20億ドル超となっていたが、2019年に17億ドルを下回った。貿易黒字は4億4,927万ドルと、2018年の7億6,270万ドルから3億ドル以上減少した。

2019年の輸出を牽引したのは輸出総額の半分近くを占める輸送用機器で、その中でも輸出総額の約45%を占める乗用車が前年比2.1%増となった。次いで24.9%を占める一般機械は、同品目の7割以上を占める半導体等製造装置が約6割減少したことで、54.0%減と大きく減少した。世界的な半導体需要を受けたイスラエルの半導体製造工場での設備更新・増設を背景に、2016年から2018年まではインテルやイスラエル国内のサプライヤー向けの取引が増加し輸出が好調だったが、需要が落ち着いたものと考えられる。

輸入は多くの品目で減少した。輸入を牽引したのは電気機器に分類される半導体等電子部品で、その中でもICは2015年から2018年までは減少が続いていたが、2019年は前年比98.3%増と大きく伸びた。2018年に大きく輸入が伸びた品目は2019年での減少が目立ち、特に化学製品に分類される医薬品は68.4%減、半導体ウエハーまたは半導体デバイスの検査用を含む科学光学機器は35.0%減となった。

表3 日本の対イスラエル主要品目別輸出入 (通関ベース)

(単位: 1,000ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2018年	2019年				2018年	2019年		
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
輸送用機器	781,699	814,152	48.9	4.2	電気機器	321,653	331,679	27.2	3.1
乗用車	727,931	743,069	44.6	2.1	半導体等電子部品	37,496	71,388	5.9	90.4
一般機械	901,594	414,544	24.9	△54.0	IC	34,669	68,741	5.6	98.3
半導体等製造装置	775,545	306,192	18.4	△60.5	一般機械	226,820	211,700	17.4	△6.7
化学製品	118,215	109,032	6.5	△7.8	化学製品	280,222	198,319	16.3	△29.2
電気機器	91,201	98,317	5.9	7.8	医薬品	134,473	42,443	3.5	△68.4
原料別製品	59,270	45,924	2.8	△22.5	原料別製品	175,890	161,885	13.3	△8.0
科学光学機器	45,169	34,108	2.0	△24.5	科学光学機器	220,945	143,633	11.8	△35.0
原料品	5,625	4,121	0.2	△26.7	食料品	101,843	88,301	7.3	△13.3
食料品	2,578	2,979	0.2	15.6	原料品	19,074	17,156	1.4	△10.1
鉱物性燃料	158	151	0.0	△4.4	輸送用機器	5,112	6,001	0.5	17.4
合計 (その他含む)	2,163,291	1,666,536	100.0	△23.0	鉱物性燃料	335	234	0.0	△30.1
					合計 (その他含む)	1,400,592	1,217,268	100.0	△13.1

[出所] 財務省貿易統計 (通関ベース) をドル換算

## ■日本企業の技術探索が活発化

2019年8月以降の日系企業による対イスラエル投資案件や提携事例としては、11月に武蔵精密工業

がアクエリアス・エンジズ (Aquarius Engines) と発電用新型エンジンの共同開発で合意した。アクエリアスの発電システムを次世代通信規格「5G」の基地局向けに展開する。凸版印刷は10月、顔画像の非識別化技術を持つディ・アイデンティフィケーション (De-Identification) と戦略的パートナーシップ契約を締結した。2020年1月、アイシン精機はバイアー・イメージング (Vayyar Imaging) と、車外センシング性能の向上のための高精細短距離レーダー供給で連携することを発表した。5月には住友化学がAIを活用した臭覚IoTソリューションを開発するナノセント (NanoScent) に対して、新型コロナウイルス感染症診断を目的としたセンサー開発のための資金提供を行うことで合意した。アシックス・ベンチャーズは5月、人工クモ糸素材を製造販売するシービックス・マテリアル・サイエンス (Seevix Material Sciences) に出資したと発表した。6月には住友商事がテルアビブに設立したコーポレートベンチャーキャピタル (CVC) のイン・ベンチャー (IN Venture) を通じて、スマートフォンのアプリを通じて取得する位置情報データ分析ソフトウェアを開発するアナゴグ (Anagog) に出資した。

ジェトロの調査によると、イスラエル進出企業数 (拠点数) は引き続き増加傾向を維持し、2016年末の60台から2019年末には90を超えた。近年は技術探索を行う日本企業の動きが活発化している。

## 主要経済指標

	2017年	2018年	2019年
①人口：914万人 (2019年末)			
②面積：2万2,072km <sup>2</sup>			
③1人当たりGDP：4万3,641米ドル (2019年)			
④実質GDP成長率 (%)	3.6	3.4	3.5
⑤消費者物価上昇率 (%)	0.4	0.5	0.7
⑥失業率 (%)	4.2	4.0	3.8
⑦貿易収支 (100万米ドル)	△7,993	△14,659	△18,068
⑧経常収支 (100万米ドル)	8,343	9,517	14,338
⑨外貨準備高 (グロス) (100万米ドル)	113,011	115,279	126,014
⑩対外債務残高 (グロス) (100万米ドル)	88,642	93,796	103,427
⑪為替レート (1米ドルにつき、シェケル、期中平均)	3.5998	3.5949	3.5645

〔注〕 2019年値は全て暫定値、②：ヨルダン川西岸・ガザ地区を除き、ゴラン高原、東エルサレムを含む、⑦は通関ベース〔出所〕 ①②④～⑧⑩⑪：イスラエル中央統計局 (CBS)、③：世界銀行、⑨：イスラエル中央銀行

(お問い合わせ先)

海外調査部 中東アフリカ課

ORH@jetro.go.jp